



短期間で栽培できる料理の名脇役！

# クレソン (ウォータークレス)

作型図	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目				●	●							
2年目												

● まきどき ● 収穫期

※栽培方法・時期は目安です。適温でのタネまき、地域や条件に合わせた栽培をおすすめします。

## おすすめアイテム

＼ タネ ／



ハーブ クレソン  
(ウォータークレス)

＼ タネまき資材 ／



ジフィーセブン  
(そのまま植えられる土ポット)

＼ 定植用培養土 ／



野菜三昧®

## 基礎情報

分類	アブラナ科
用途	地植え／鉢植え
日当たり	日なた
耐暑性	中
収穫までの日数	タネまき後56日～

※タネ袋のデザインは変更することがあります。

## タネをまく前に 毎回確認！ タネまき基本3チェック

### ☑ まき時期をチェック

秋まきは春まきに比べるとタネまきができる期間が短いものが多いです。早くまき過ぎると高温で発芽不良になったり、遅いと品種本来の特性が発揮できずよく育ちません。

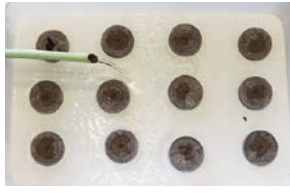
### ☑ 土の厚さをチェック

発芽するときに光を好むもの、嫌うもの、どちらでもいいものがあります。必ずチェックしてからまきましよう。

### ☑ 土が乾燥していないかチェック

タネまき後、発芽まではこまめに水やりしてください。発芽するまで乾燥は厳禁。ジョウロでの水やりでタネが流されそうな場合は霧吹きを使ってください。

## 手順 1 タネまき



ジフィーセブンをトレーに入れてたっぷりの水で膨らませます。



ジフィーセブンの中央部を割り箸で軽くほぐします。



タネを3~4粒ずつまきます。



割り箸で土を優しくかけます。

4~5月または9月がタネまき時期で、発芽適温（地温）は20℃前後です。

タネまきには「ジフィーセブン」を使うのがおすすめです。タネはとても細かいので、タネが隠れる程度に薄く土をかけます。水は上からかけないで底から吸わせ、発芽まで土を乾かさないようにします。発芽日数は5~10日です。

### ジフィーセブンってなに？

中央のくぼみにタネをまき、芽が出たらそのまま植え付けできるタネまきお助けアイテムです。タネまき用土など特別に用意しなくてもタネまきが手軽にできます！



水につけ、吸水させて使用します

## 手順 2 間引き



発芽したら混み合うところは間引いて、しっかりとした苗に育てます。生育適温は15~20℃です。

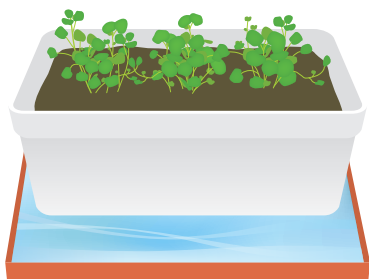
## 手順 3 定植

苗が4~5cmに育ったら、いつでも水やりのできるプランターに株間15~20cm間隔で植え付けます。直径18~21cm鉢に3本植えでもいいです。どちらも受け皿のある容器を用意しましょう。土は初期肥料配合済みでそのまま使える「野菜三昧」がおすすめです。



## 手順 4 水やり・追肥

水を浅く受け皿に張ります。受け皿の水は月に1回取り替えます。生育適温は15~20℃なので、5~6月には旺盛に育ちます。夏の高温期は半日陰の場所に容器を移したり、日よけをして水温が高くなり過ぎないようにします。冬は室内の明るい窓辺や日だまりに容器を移すことで、寒さで葉を傷めず成長します。葉色を見ながら追肥します。



## 手順 5 収穫

柔らかな新芽を、10~15cmの長さで摘んで収穫します。年中収穫できますが、低温期には辛みが強くなります。茂り過ぎた株は茎を切り詰めると、芽が盛んに伸びて新鮮な葉が収穫できます。

